SBI FX Market Eye　　2020 年 9 月 11 日（10 日終値）

株式市場	終値	前日比	債券・商品	終値	前日比
NYダウ	27,534.58	-405.89	米10年債	0.678%	低下
ナスダック	10,919.59	-221.97	英10年債	0.227%	低下
シカゴ日経先物	22,935.00	-250.00	独10年債	-0.433%	上昇
英FTSE	6,003.32	-9.52	原油価格	37.3	-0.75
独DAX	13,208.89	-28.32	金価格	1,964.30	9.40

10 日の主要経済指標

米新規失業保険申請件数　88.4 万件　（予想：85.0 万件　前月：88.4 万件）
米 8 月卸売物価指数 コア前年比 0.6%　（予想：0.3%　前月：0.3%）

昨晩 10 日 17 時 00 分～11 日 6 時 00 分までのドル円 15 分足チャート

①ドル円は欧州市場序盤の 106 円 01 銭を下値に NY 市場序盤にかけて 106 円 16 銭まで反発したものの ECB 理事会の内容を見極めたいとして 106 円台前半での小動きに終始。また、ユーロも 17 時前の 1.1816 ドルを下値に 1.1844 ドルまで反発したものの 1.18 ドル台半ばから上値での戻り売りの観測も聞かれ 1.18 ドル台前半での値動きを継続。

②ECB 理事会では予想通り政策金利を据え置いた一方、懸念されたユーロ高の物価下落圧力への影響について ECB はユーロ高に過剰に反応する必要はないということで合意したと報じられ、ユーロは対ドルで 9 月 2 日以来の高値となる 1.1917 ドルまで反発。ドル円は一時 105 円 98 銭まで反落。

③その後、ラガルド ECB 総裁からはユーロ相場のインフレへの影響を慎重に判断とユーロ高を牽制したと見られる発言も聞かれユーロは徐々に上値を切り下げる展開となったほか、英国の EU 離脱を巡る通商交渉について EU との交渉決裂への思惑が再燃。ポンドは日足・雲の上限（10 日：1.2897 ドル）を下回ったことで NY 市場終盤にかけて 7 月 24 日以来の安値となる 1.2773 ドルまで下落。また、ユーロも 1.1917 ドルを高値に日足・転換線（1.1882 ドル）や基準線（1.1861 ドル）を下抜け NY 市場終盤には 1.1810 ドルまで下落。こうした対欧州通貨でのドル買いの動きに支援されドル円は 106 円 23 銭まで反発。

④しかし、ユーロやポンドの対ドルでの下落に伴いユーロ円やポンド円、さらには豪ドル円などクロス円の下落がドル円上昇の足かせとなり 106 円 13 銭で昨晩の取引を終了。

♠ 9 月 11 日の注目材料

- ドル円は日足・基準線や転換線(ともに 106 円 07 銭)を下値支持線として 9 月 7 日、8 日の高値(106 円 38 銭)を上抜けることが出来るか、クロス円の動向と合わせて注目。
- 15 時 00 分発表の英 7 月月次 GDP や鉱工業生産、さらには 18 時 30 分からのラガルド ECB 総裁の発言に対するポンドやユーロの動向に注目。ポンドやユーロが一段と下落基調を強める可能性もある一方、週末のポジション調整に伴う買い戻しの動きがあるか注目。
- 豪ドル円は日足・基準線(77 円 03 銭)や転換線（77 円 23 銭）を回復し反発に転じるか、これらの水準を上値抵抗線として 77 円割れを定着する動きとなるか注目。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくはス加工あしたものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。 また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。